

飯山市民館館長・主事合同会議開催

飯山市民館館長に秋津公民館長「坪井久」 副会長に太田公民館長「宮澤 章榮」が就任

4月22日飯山市民館において、平成21年度飯山市民館長・主事合同会議が開催されました。

会議の冒頭、本年4月1日付けにて、地区公民館長に就任された3名の方々へ、土屋稔飯山市教育長より辞令交付が行われ、共に公民館活動を支えていただくこととなりました。



会長には、昨年に引き続き秋津公民館長の坪井久さん、副会長は新たに太田公民館長の宮澤章榮さんがそれぞれ就任されました。

退任者

◇飯山公民館長

長瀬 哲さん(上町)

平成19年4月1日より2年間、公民館事業を支えて頂きありがとうございました。

就任者

◇飯山公民館長

宮澤 眞一さん(神明町)

また、富倉公民館の阿部博文館長(中谷) 外様公民館の服部秀人館長(中条)がそれぞれ再任されました。

ますますのご尽力を期待しますとともに、地区の皆様のご協力をお願いいたします。

マイ★オピニオン

「富倉に移り住んで」

富倉地区 専門部員 上岸 隆治



はやいもので、富倉へ移り住んでから十年を越えました。過ぎてしまえば、本当に「光陰矢の如し」という感じです。富倉に引越してきた年の冬は朝から晩まで雪かき。初雪は美しいで済んだのですが、かいてもかいても雪はかたづけかず、そうこうするうち屋根から地響きを立てて落ちる雪。まともに頭からかぶったこともありま。雪は自然落下。そう、自然に落ちるだけで片付く訳ではなく、軒先にたまる一方。結局自分で片づけるほかありません。さすがに二年目には除雪機を購入しました。

今でも根雪になると気が滅入ってきます。しかし、雪の降る冬にもいい事もあります。わずかな雪の合間の夜空を見上げると、漆黒の闇に浮かぶオリオンや北斗七星などと、大きく輝いて見えます。たまには冬の星々を見上げるのもいいものです。

そんな冬も通り過ぎ、薄明るくなってきた寝床の中でう

飯山市民美術館

「佐藤武造」ギャラリー企画展

現在、美術館2階ギャラリーにおいて、下高井郡瑞穂村(現、飯山市)出身の画家・佐藤武造(1891~1973)のデッサンやエッチングを20点余り展示しています。

佐藤武造は地元では漆絵の画家として知られています。中期(イギリス滞在時代)の絹絵(きぬえ)、後期の漆絵に大きく分けられることが出来ます。極限られた人たちが海外へ留学していた大正時代、武造もイギリスの美術大学へ入学を実現しています。一度目のイギリス滞在は10年に及びましたが、武造は油彩画に代表される西洋の絵画技法を学びはしたものの、意外にも日本からイギリスへ持参した絹絵(絹地に描いた水彩画)が評価され人気画家となったのでした。

今回、2階ギャラリーで展示している作品は絹絵ではありませんが、それらと同じ時代に制作したデッサンやエッチングで、日本に持ち帰ることのできた貴重な作品です。



武造の人物デッサンに見られる細く流れるような筆致と擦り込むように描き出された陰影は、同じ時期にパリで活躍していた藤田嗣治(1896~1958)の影響が色濃く感じられます。イギリスの新聞に日本人の人気画家として取り上げられ、「パリのフジタ、ロンドンのタケ・サトウ」と並び称されたことがあったという話があります。

百年近い昔、郷土出身の画家が遠くヨーロッパの街で活躍していた姿を想像しながら作品を鑑賞してみたいかがでしょうか。

創造と参加するよろこび 手づくりの美の祭典



第29回 飯山市民芸術祭開催

第29回飯山市民芸術祭は、日頃の練習の成果を発表する場として、飯山市芸術文化協会が主催となり開催されました。

4月11日(土) 12日(日)には、展示部門として飯山市民館、飯山市民美術館を会場に開催され、28団体、個人6人が参加され、数多くの作品が展示されました。

4月19日(日)には舞台部門が飯山市民会館まぐらホールを会場に行われ、32団体、個人2人の参加のもと、87演

目の舞台発表が開催されました。城山の桜もちょうど見頃を迎え、晴天のなか多くの花見客が飯山城趾を訪れていました。

舞台発表においても、花見同様に多くの方々が鑑賞され、発表される皆様の日頃の精進の成果に大きな歓声と拍手が沸き起こっていました。展示・舞台部門合わせて約760名の方が出品・出演され、来場者も1200人を超え、大成功の内に終了することができました。

マイ★オピニオン

「専門部員を務めるにあたって」

秋津地区 専門部員 佐藤 正俊

この春から2年間、秋津地区の専門部員を務めさせていただくことになりました。上組の佐藤と申します。木島から秋津に越してまだ3年ほど、お恥ずかしい話ではあります。皆さんの顔や名前、ましてや地域の実情などまったくと言ってよいほど解っていない未熟者です。そんな私に専門部員が務まるのかとプレッシャーを感じる毎日です。

そんな中、先日、引継ぎが行われ、子どもからお年寄りまで幅広い世代を対象に多種多様な事業を展開していること知り、また地域コミュニティにおける公民館活動の大切さを聞かされ、その一旦を担う専門部員の重責に更なるプレッシャーを感じております。

す。多くの人との出会いを築き上げてきた公民館活動の発展に少しでも貢献できたらと思っています。2年間という短い時間ではありますが、先輩方の指導の下、自分の役割を果たして行く所存です。まずは6月にマレットゴルフ大会があります。大勢の皆さんの参加をお待ちしております。